

突発性発疹症

○どんな病気？

主に、**生後6か月から3歳くらい**までのお子さんにみられるウイルス感染症の一つです。ヒトヘルペスウイルス6型、7型に感染することで発症します。ほとんどのお子さんが3歳までに感染し、一度かかると免疫を持つことができるため、その後感染することはありませんが、ウイルスが2種類あるため、2度かかることがあります。

○感染経路は？

唾液中に存在するウイルスが、経口感染や飛沫感染などで感染するといわれています。ウイルスは主に大人の口の中に存在します。感染力は大変弱いため、保育園で大流行することはありませんが、感染の可能性はあります。

○どんな症状？

発熱：突然、38～39度くらいの発熱を認め、3～4日続きます。生まれて初めての発熱のことが多いです。**熱性けいれん**を認めることもあります。

発疹：熱が下がったあとに、お腹・背中から手足、顔に広がる赤い発疹を認めます。発疹が出ている間、不機嫌になることがあります。

下痢：発熱して2～3日後に便がゆるくなる場合があります。

○どんな治療？

ウイルス感染なので、対症療法となります。5～7日で落ち着くでしょう。

○保育園はいつから？

熱がさがって、元気と食欲がもどいたら保育園はOKです。

ただし、発疹が出ている間は機嫌が悪いことも多いので、機嫌がよくなってから登園したほうがいいでしょう。



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic